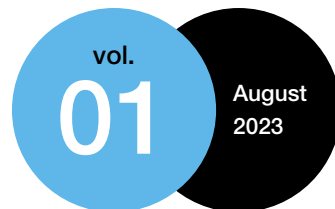


みんなで考える、子どもの未来

あかつき 道徳 TIME



新しい教材を読むと、「驚きと感動」で心が満たされることがある。気がつくとき生き方が変わっていることもある。そんな体験を子どもたちが味わうために、大人や先生たちは、何ができるのだろうか。第1弾は、中学校教諭、校長、文部科学省教科調査官などを歴任した柴原弘志先生にご登場いただいた当社の講座『あかつき道徳チャンネル』から一部を編集してご紹介します。

「リレー道徳」のすすめ

京都産業大学教授・元文部科学省教科調査官
柴原弘志



PROFILE

京都市立中学校教員を経て、京都市教育委員会学校指導課指導主事。平成13年から文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官。その後、京都市立下京中学校校長、京都市教育委員会指導部長等を経て、現在、京都産業大学教授。

**教材研究や分析が、
十分できない**

「教材研究や分析ができない」、「授業を構想する時間もない」という現場の悩みについて、ここでは、PDCAサイクルを日常的に回していくことを、ご紹介したいと思います。

中学校の場合、一回授業で教材を使うと、その教材を次に使うのが学年進行をすれば、基本的には三年後になります。ある授業を実施して、こうしておけばよかったですと思っても、その授業をより改善するとしたら、三年後になるのかもしれないのです。そのまま生徒と共に学年が上がるとは決まっていますが、通常は三年後になってしまふ。そうならな



い方法として、さまざまなことが今日も行われているわけです。ルーティン・シオン道徳などもそういったことを考えて実施している学校もあるかもしれません。(次頁・図1)

授業PLANをどうつくるか

ある道徳の授業を構想する。学習指導計画をつくる。「PLAN」ですね。そして実施する。授業はやりっぱなしではだめですから、その後、「やっぱりこの発問よりもこっちの発問のほうがよかった」「こんな反応があったのだけれど、もう少し生かすことができたな」「もう少し時間配分をこうしておけばよかった」等々と気がつくものです。しかしながら、次にこの教材で授業するのは三年後。そうではなくて、短期間にも日常的にこういうPDCAサイクルが回せる方法はないだろうか。これがいわゆる「リレー道徳」と言われるものです。

授業の改善・工夫のアイデアを短期間に受け継ぐ実践法

学年に二クラス以上あるとすれば、通常は一定の日に、同時進行である教材を使って授業をします。一般

図2 リレー道徳

授業日時をクラスごとにずらす

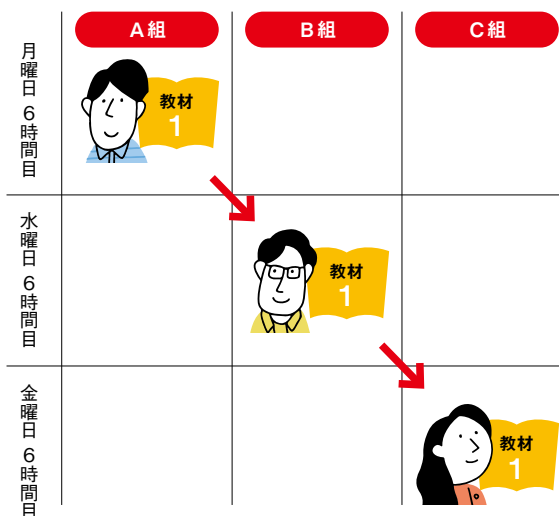
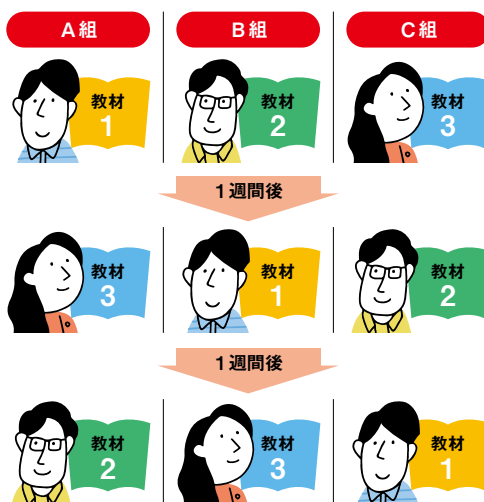


図1 ローテーション道徳

特定の教材で、ある先生が全クラスで授業実施



【メリット】

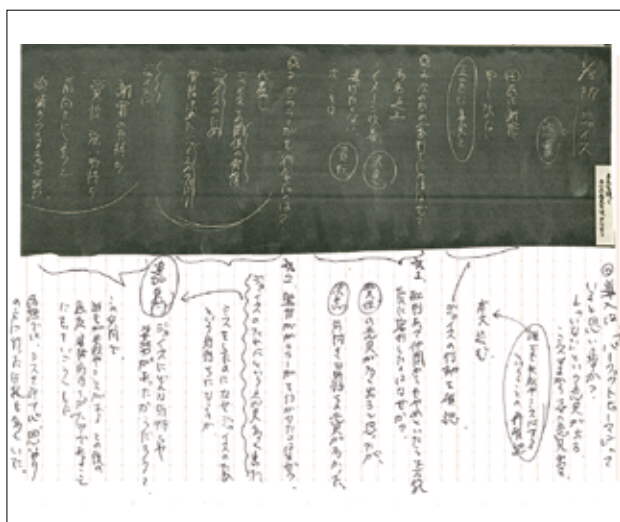
- ・同じ教材で連続して授業できるので授業改善しやすい。
- ・指導力向上しやすい。

【デメリット】

- ・クラスごとに授業の順番が変わることがある。配列に意図がある場合は注意が必要。
- ・評価のためには、担任が受け持たない教材についても把握が必要。

図3 リレー道徳

撮影した板書写真の下に先生がメモを書く



的に、年間指導計画を作成する場合、行事や他の教科との関係、季節や祝日、地域の行事などを考えながら、その教材が最も生きる時期で設定をします。

もしも、同じ日時にその教材が全クラスでいつせいに使われなくても、それほど支障がないということであれば、その教材での授業日時をクラスごとにずらすことも可能になります。(図2)

では、どんなことができるでしょう。




うか。

例えば、Aというクラスで、ある教材を使い授業を展開してみました。いろいろなことが分かります。「こんな風にすればよかった」「こんな発言が出るのだな」「発言からこんな問いを発したらうまくいくかもしれない」など。

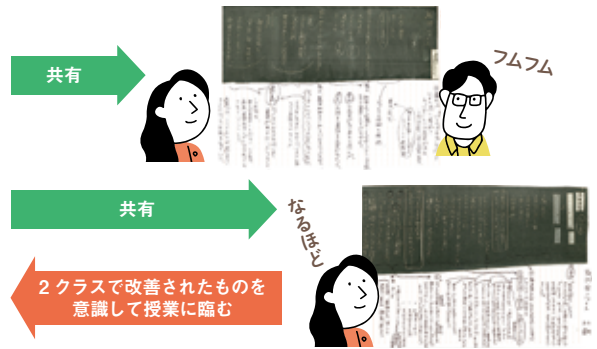
あるクラスでの授業の様子は、通常、板書に表現されるものです。板書にはこんな学習が行われたんだ、こんな意見がこの問いに対しては出たんだ、という学びの軌跡が描かれています。授業後にスマホで撮影しておき、職員室でプリントアウトし、連絡用のホワイトボードなどに貼る。その板書写真の下に先生がメモを書きます。(図3)

「中心発問をしたらこんな意見が出て〜」などいろいろと先生がメモで書いているのですね。事例のようにこんなにも多くなってもよいのです。「この発問はだめ」等々、まさにメモ程度でよいのです。多くの場合、指導書には「補助発問」も示されています。そちらの発問のほうがより深く皆で考えられる。あるいは、多様な意見が出そうだったということが分ければ、「中心発問をそちらにし

図4 リレー道徳 授業内容、改善点などを共有する

	A組	B組	C組
1日目	 教材 1		
2日目		 教材 1	
3日目			 教材 1

連絡用などのホワイトボード



たほうがよい」のです。
 あるいは、この発問に対して、こんな意見が出てきた。この意見に対して「問い返し・切り返し」で、「こんな問いを発するとこういうようにさらに深まった」というのが分かります。こうしたことがメモしてあるのです。

職員室でのゲリラ的研修

授業の時間がずれているので、先に実施された授業の結果を参考に、改善・工夫する箇所の意識をもって、次の先生が自分のクラスで授業をすることができるようになります。そして、またその板書を写真で撮って、その下にメモを書く。(図4)

こうして二つの授業でさらに改善されたものをしっかりと意識して、さらに次の先生が授業に臨むのです。これがずっと展開されていく。板書にせよ、メモをする以外は通常やっ



授業の改善・工夫が引き継がれていく

授業での改善・工夫が次の学年にも引き継がれる

この記録ノートには、それぞれの担任による授業板書が、貴重なメモ

と共にパッキングされています。全部の授業ではなく、年間のいくつかの教材について実施されています。それぞれの学校における重点項目の教材、中には、地域の小中学校共通の重点項目の各教材が取り上げられています。そういった教材の効果的な活用による授業改善への実践研究の成果が、次の学年にしっかりと受け継がれ、引き継がれていくのです。

先の学年でのPDCAサイクルによる改善・工夫が加えられた授業モデルが、次の学年でのスタートになります。すなわち、この授業改善へのPDCAサイクルが、らせん状にずっとくり返されていくことになるのです。これが、「リレー道徳」です。

取り組まれた学校からは、様々な理由から「よかった」という声が届いています。実践を考えてみられてはいかがでしょうか。



あかつき道徳チャンネル

好評配信中
 柴原弘志先生
 「道徳のいま
 学校現場の課題にこたえる」

実践！ リレー道徳授業

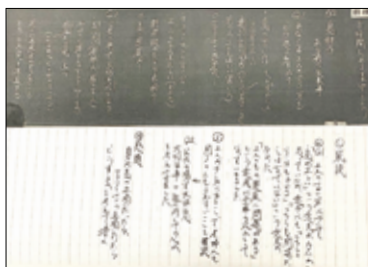
道徳授業の面白さを先生が気づくきっかけに



京都府京田辺市立
大住中学校教諭
中野由理

リレー道徳を始めて3、4年ほどになります。道徳が教科化したばかりの頃、授業をすることに対して消極的な空気が流れていた中、この取り組みを知り、導入してみました。

職員室での意見交流はあえて時間を決めず、自然に任せています。主に道徳授



板書記録ノート

業の前日に、すでに授業を終えた先生からアドバイスを受けるといった姿が見られるようになりました。

また、板書の記録はカラーコピーしたものをノートに貼りつけ、その下にメモをとっていましたが、最近はタブレットPCで撮影したものを共有しています。全学年、全クラス、全授業の板書を残しているため、学校の財産となっています。

学年全体の取り組みとしてリレー道徳をこつこつと続けていくうちに、授業で生徒と一緒に考えを深めていく面白さに気づく先生が増えてきました。それだけでなく、生徒も授業に積極的に臨み、自分のこととして考える姿が増えてきたように思います。

先生同士の結束力が高まり、楽しい授業に



滋賀県草津市立
新堂中学校教諭
小林浩美

本校では、年間カリキュラムの一部としてリレー道徳を取り入れています。導入してから今年で4年目です。「授業力向上を感じます！」と、若手の先生からも好評です。さまざまな授業改善・工夫のアイデアを引き継げるよさを実感しています。

例えば、苦手意識の強い内容項目の教材でも、引き継がれた学習指導案があると心強く、安心して授業に臨める、という声があります。また、ICTの効果的な活用が得意な先生から他の先生へスムーズに共有される場もなっています。何より、リレー道徳をはじめとした道徳の授業への取り組みを通し、学

年の垣根を越えて、授業の悩みについてなど気軽に話し合える雰囲気ができました。先生にとって、1回目を担当した教材への愛着が湧くこともリレー道徳ならではのです。

本校では、「道徳の授業が楽しい！」と言う生徒が多く、道徳以外の授業での発言も活発になる等、よい変化を感じています。

2年道徳 1学期 授業表				
	2-1	2-2	2-3	2-4
4月19日 (水)	道徳マスタリレーション			
4月26日 (水)	道徳活動学習室			
5月3日 (水)	教材 OOOO			
5月10日 (水)	教材 OOOO			
5月17日 (水)	教材 A	教材 B	教材 C	教材 D
5月24日 (水)	教材 D	教材 A	教材 B	教材 C
5月31日 (水)	教材 C	教材 D	教材 A	教材 B
6月7日 (水)	教材 B	教材 C	教材 D	教材 A
6月14日 (水)	教材 F			
6月21日 (水)	教材 G			
6月28日 (水)	教材 H			
7月5日 (水)	教材 I			
7月12日 (水)	道徳学習室			
7月19日 (水)	教材 OOOO			

中学2年前期の学習指導計画イメージ